

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 リアリティ・エクストゥエルブ	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.490	△RG 0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：リアリティ・エクストゥエルブ

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 番

PAPからピンとの距離
4 インチ

研磨剤

比較対照ボール：リアリティ

フレアーの幅 インチ

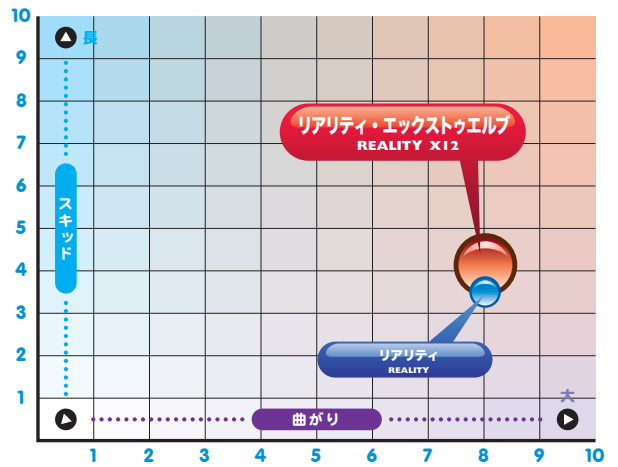
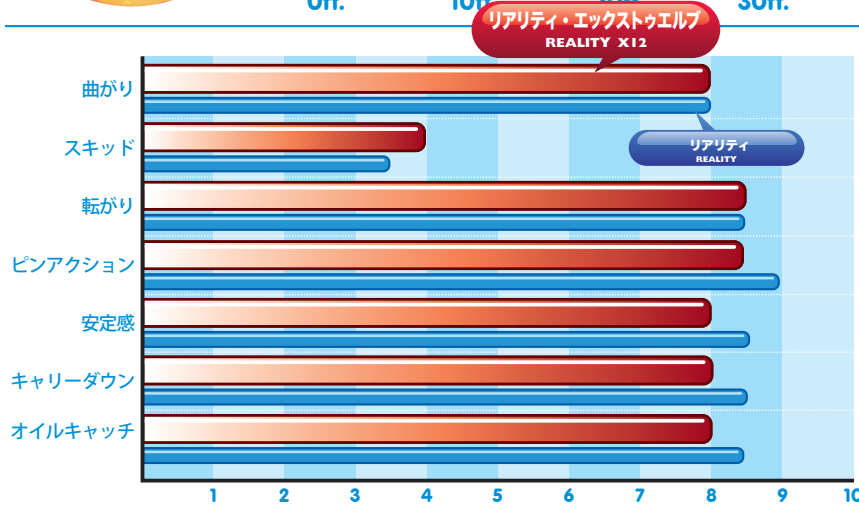
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 番

PAPからピンとの距離
4 インチ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

初代REALITYは発売から若干日が経ってから900Globalで最もオイルに強いボールと注目され始めたので、急いで国内にあるショップの在庫状況を探り、購入した方が多かったと思います。今回導入されたREALITY X12はカタログ上では初代REALITYに一番近いスペックですが違いは表面仕上げで、#2000アブラロン加工から#3000アブラロンに変更されています。

初代REALITYとパフォーマンスの比較を行いました。投球してすぐに私はただ表面加工の違いだけではない動きの差を感じました。初代REALITYはミッドで強くブレーキしてそのまま寄るイメージのボールでしたが、REALITY X12はミッドよりもバックエンドに動きの特徴が出て、俊敏さと鋭いリアクションを感じました。

見た目の粗さとは裏腹に、意外にもバックエンドに動きの特徴が出せているのは好印象でした。これまで発売されたREALITYの中で先での鋭さだけを比較するとREALITY<REALITY CHECK<REALITY X12と表すことができます。REALITY CHECKを投げたときに感じたことですが、REALITYを一番オイリー用として使用することを考えると、もう少し手前のオイルへの強さが欲しかったのですが、このREALITY X12が加わることでその不安は一気に解消されました。手前のオイルがより感じる場合にはREALITY X12を使いながらオイルの長さや厚さ、バックエンドの状態を加味したうえでREALITY CHECKとREALITY X12を使い分けられると思います。REALITY X12はさらに表面を曇らせることでミッドの強さを強調させることもできますし、箱だしから細かくすることでミディアムコンディションまでを網羅できます。

特記事項

オイルに強く、初代REALITYよりバックエンドを強調させたモデル。
表面加工で初代REALITYに近づけることもできるし、磨くことでさらにバックエンドの動きに特徴を持たせることができます。